

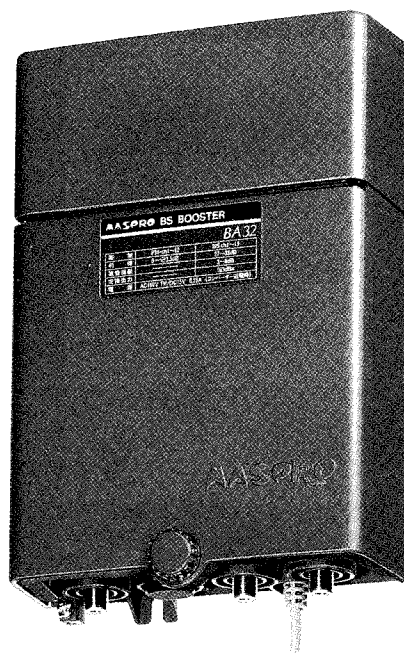
取扱説明書

BS BOOSTER
伝送周波数帯域 1032~1336MHz
VHF・UHF (76~770MHz) ミキサー内蔵
BA32
AC100V・低電圧 (DC15V) 両用方式



アパート・マンションなどでBS放送を共同受信するとき、レベル低下を補うのに最適な高性能ブースターです。

低電圧方式の場合、ブースター電源部
WP5DCを使用してください。



BSデジタルマークは、(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の性能、品質基準に適合した「BSデジタル放送ホーム受信用アンテナ・機器」に対して、表示が認められているマークです。

高性能・高信頼

VU・BS 混合・別入力対応型

入力切換スイッチによって、VHF・UHF・BSを混合入力と別入力で切替えることができます。

入力レベル調整 (ATT) と利得調整付

入力レベル調整アッテネーターと利得調整を備えていますから、幅広い入力レベルに対応できます。

優れた機能

スイッチ切換なしの AC100V・低電圧 (DC15V) 両用方式

マスプロ独自の電源供給方式によって、AC100Vまたは低電圧 (DC15V) のどちらの方式でも、スイッチの切換操作なしで使用できます。

BSコンバーターへ給電

DC15Vの安定化電源 (出力容量4W) を内蔵していますから、安定した電源をBSコンバーターへ給電することができます。

フタはネジ止め式

フタはネジ止め式ですから、しっかりと固定できます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
- お読みになったあとは、保存してください。

親切・技術の

MASPRO

＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能

入力切換スイッチ

VU・BSの入力を混合入力
と別入力で切換えられます。

(「入力切換スイッチの操作方法」参照)

DC15V給電スイッチ (最大4W)

BSコンバーターへ電源 (DC15V) を
供給するときは、ONにしてください。

入力レベル調整 (ATT) (10dB)

BSの入力レベルが高いときに使用
してください。

アース端子

VU入力端子

- BS別入力のときのVHF (FM) ・
UHFの入力端子です。
- 使用しないときは、付属の防水
キャップ (小) を取付けてくだ
さい。

VU・BS 混合入力端子 BS 入力端子

- BS 別入力のときのBSの入力端子です。
- VU・BS 混合入力のときのVHF (FM) ・
UHF・BSの入力端子です。

利得調整

BSの出力レベルを0～-15dB連
続して調整できます。

ご注意

利得を調整するときは調整用
ドライバーを使用してください。
無理に回すとこわれることが
あります。

パイロットランプ

出力測定端子 (-20dB)

出力端子 (DC15V受電端子)

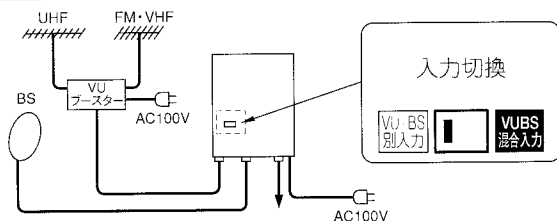
電源コード (約0.9m)

電源コードについて

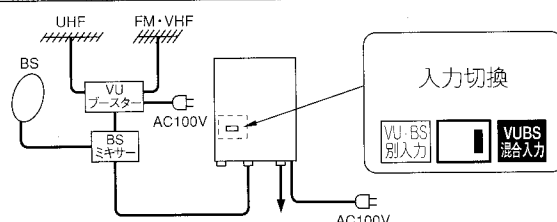
- 電源コードを延長するために、途中で切断して
別のコードをつなぐことは、電気設備技術基準
で禁じられています。
- ブースターを屋外のアンテナマストや支持柱に取付
けるときは、必ず低電圧 (DC15V) 方式で使
用してください。
AC100V方式 (電源コードからAC100Vを給電
する方式) では使用することはできません。
- 低電圧 (DC15V) 方式で使用するときは、電源
コードに電圧は、一切かかりません。
じゃまになる場合、電源コードを根元から切断
してください。

入力切換スイッチの操作方法

VHF (FM) ・ UHF混合, BS別入力の場合



VHF (FM) ・ UHF ・ BS混合入力の場合



BS入力レベルの設定について

入力レベルは、必ず実用入力レベルの範囲内になるように設定し
てください。実用入力レベルを超えた状態で作動させておくと、故障の
原因となります。使用する前に確認してください。

入力レベルの確認方法

BSアンテナまたはミキサーからのケーブルをレベルチェッカーに接
続して、入力レベルをチェックしてください。

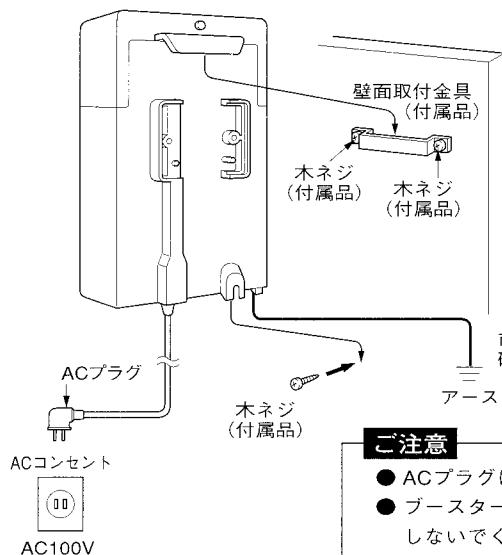
- 入力レベルが実用入力レベル (規格表※2: 利得調整は最小時, 入力
レベル調整 (ATT) 10dB挿入時の最大入力レベル) の範囲内になっ
ているか確認してください。
- 実用入力レベルを超えているときは、外付けのアッテネーター
(ATT3CS, ATT6CS, ATT10CS 別売) を使用して、実用入力レ
ベルの範囲内になるようにしてください。

入力レベル調整 (ATT) と利得調整について

出荷時には、入力レベル調整 (ATT) は、0dB側に、また利得調整
はMAX.の位置にしています。入力レベルを設定するときには、
注意してください。

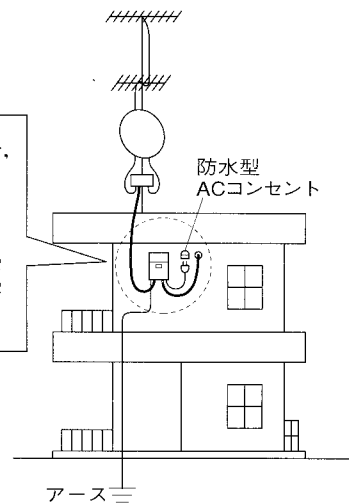
取付方法

板壁面



●雨水が直接かかる場所に取付ける場合、防水型のACコンセントを設置してください。

●塩害・公害・ほこりなどの影響を受け易い場所では、ブースターを収容ボックスに入れて取付けてください。

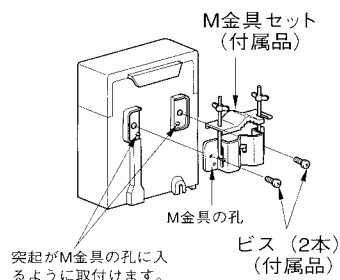


ご注意

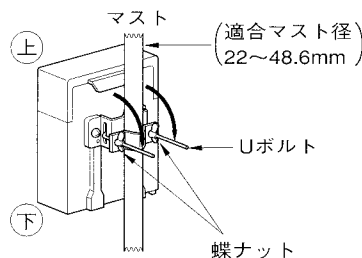
- ACプラグは、共同受信の配線工事がすべて終了してから、ACコンセントに接続してください。
- ブースターは内部温度上昇を防ぐため、グラスウールのような断熱材の上に置いたり、包んだりしないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから外してください。

マスト・支持柱

- M金具セットを付属のビス (2本) で下図のように取付けてください。

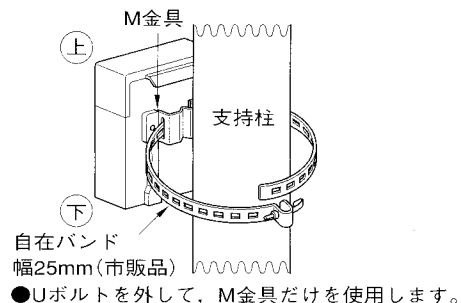


- 蝶ナットをゆるめ、Uボルトを矢印の方向へ90°起こし、取付けてください。



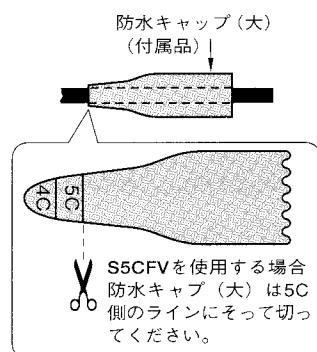
ご注意

本器をマスト・支持柱に取付けるときは、必ず、低電圧方式で使用してください。AC100V方式で使用することはできません。

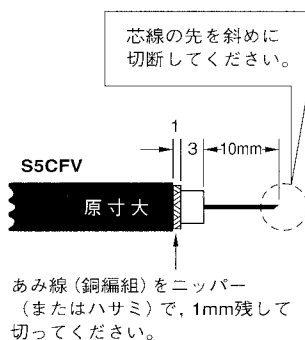


F型コネクター (FP5) の取付方法

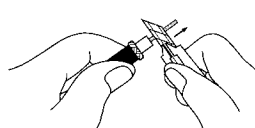
- 1 ケーブルを付属の防水キャップに通す



- 2 ケーブルの加工

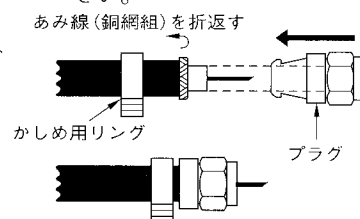


- 3 芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために、必ず取除いてください。

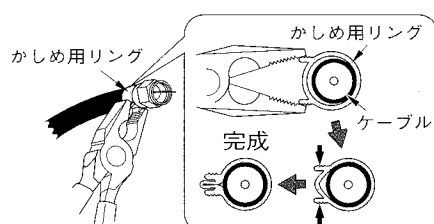


- 4 プラグの取付

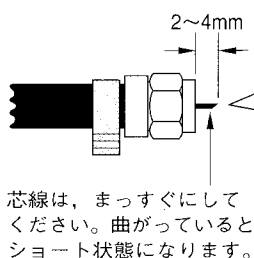
1. かしめ用リングを、ケーブルに通してください。
2. あみ線 (銅編組) を折返してください。
3. プラグを強く押し込んでください。



- 5 かしめ用リングをペンチで圧着
プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



完成図



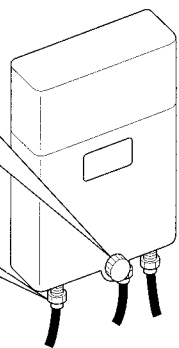
芯線の長さは、必ず2~4mmにしてください。

F型コネクターのプラグから出る芯線が4mmを超えると、機器側のF型コネクターの端子部が破損して、故障の原因となることがあります。

フタ固定ビス

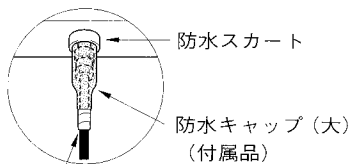
手でしっかりと締付けてください。
工具などを使って締付けると、
ネジが破損して、フタが固定
できなくなります。

F型コネクター
●締付トルク
2N・m
(20kgf・cm)



防水キャップの取付けについて

軒下・マスト・支持柱など、屋外に設置するときは、必ず防水キャップ(大)を使用してください。
使用しない端子には、付属の防水キャップ(小)を取付けてください。



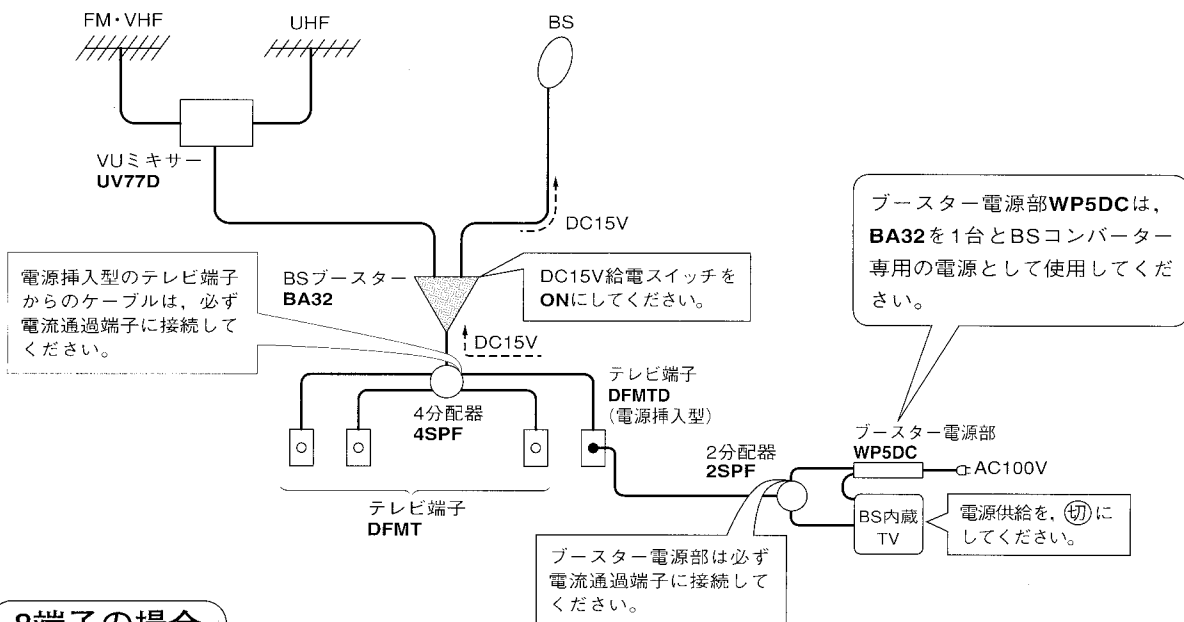
防水キャップ(大)がスカート部から外れるのを防止するために、ビニルテープ(市販品)で止めてください。

使用例

- 分配器・直列ユニットなどは、すべてBS帯域で性能が保証されたものを使用してください。
- 配線用ケーブルは、BS用低損失75Ωケーブル(S5CFVまたはS5CFB)を使用してください。

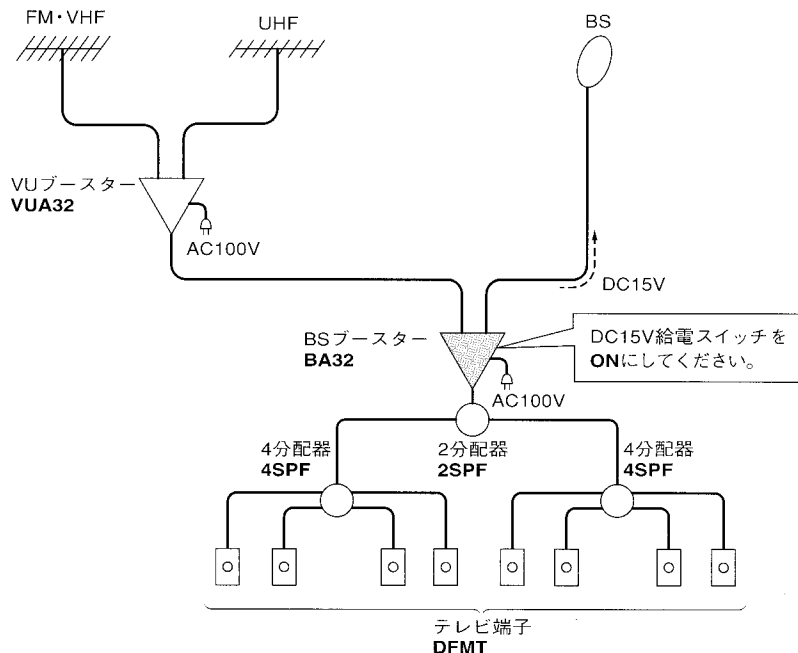
4端子の場合

低電圧(DC15V)方式で使用した例です。



8端子の場合

AC100Vで使用した例です。



正しく使用していただくために

画像が出ない場合、または、良い画像が得られないときは、次のチェックをしてください。

画像が出ない場合

1. 電源

規定の電源（AC100VまたはDC15V）が正しく供給されていますか。

- 電源電圧を確認してください。

2. DC15V給電スイッチ

正しく操作してありますか。

- DC15V給電スイッチを確認してください。

3. 入力切換スイッチ

正しく操作してありますか。

- p.2の「入力切換スイッチの操作方法」をご覧ください。

4. 入・出力端子とケーブルの接続

本器と接続する入・出力ケーブルは、それぞれの端子に正しく接続してありますか。

- 各端子とケーブルの接続を確認してください。

5. ケーブルの点検

断線またはショートしていませんか。

- ケーブルやコネクタプラグの接続部分を確認してください。

画像にスパークリーノイズ（BS受信時）またはスノーノイズ（VHF・UHF受信時）が目立つ場合

1. BSの受信画像にスパークリーノイズが出る

BSアンテナの方向がずれています。

- 画像を見ながら、ノイズ（スパークリーノイズ）が最も少なくなるように、BSアンテナの方向を再調整してください。

BSチューナーへの入力レベルが不足しています。

（BSアンテナからのケーブルが長過ぎたり、損失の多いケーブルを使っていませんか。）

- ケーブルをできるだけ短くするか、ケーブルを損失の少ないBS用低損失75Ωケーブルに交換してください。

2. BSの受信画像に妨害が出る

レーダーの基地や空港の近くで受信すると、周期的に画像に妨害を受ける場合があります。

- BSアンテナやブースターをレーダーの電波ビームから外れる低い位置か、建物の陰になるような場所に移動させてください。

3. VHFまたはUHFの受信画像にスノーノイズが出る

アンテナの出力レベルが不足しています。

- アンテナを高感度のものに交換するか、設置場所を変え、受信レベルを上げてください。
- VUブースターを使用してください。

以上の方法でも、トラブルが解決できない場合、お近くの支店・営業所か、本社技術相談にお問合わせください。

ブースターは正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと、ブースターが発振して、ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

- ①入力端子・出力端子への配線は、取扱説明書にしたがい確実にこなってください。

- ②入力側と出力側のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けないでください。

- ③ブースターの出力側の配線は、BS用低損失75Ωケーブルをご使用ください。

- ④ブースターをアンテナマストに取付ける場合、VHF・UHFアンテナとブースターの間隔を約1m以上離してください。

項目 Items	規格	
伝送周波数帯域 Frequency Range	1032~1336MHz (BSch1~15)	76~770MHz (FM・ch1~62)
利得 Gain	27~33dB	——
挿入損失 Insertion Loss	——	0~3.5dB
利得偏差 (P/V) Gain Response Flatness	5dB以内	——
利得調整範囲 Gain Control Range	0~⊖15dB以上 (連続可変)	——
入力レベル調整(ATT) Input Level Control ATT.	10dB	——
実用入力レベル範囲 Operating Input Level	※1 ※2 48~70dB μ (85dB μ) [95dB μ]	——
定格出力レベル Rated Output Level	103dB μ	——
混変調/相互変調 Cross Modulation / Intermodulation	—— / ⊖50dB以下 ※3	——
雑音指数 (NF) Noise Figure	3~6dB	——
VSWR	1.1~2.5	1.1~3
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75 Ω	
耐雷性 Surge Protection Voltage	15kV (1.2/50 μ s) のサージ電圧に耐えること	
電源 Power Requirements	AC100V方式または低電圧 (DC15V) 方式	
BSコンバーター用電源 Power Supply for BS Converter	DC15V 4W	
消費電力 Power Consumption	7W (AC100V方式) , 0.35A (DC15V方式) (BSコンバーター給電時)	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20~⊕40℃	
外観寸法 Dimensions	214 (H) × 146 (W) × 65 (D) mm	
質量 (重量) Weight	約1kg	
シンボル Symbol		

※1 利得調整を最小にしたときの最大の実用入力レベル

※2 利得調整を最小にして、入力レベル調整 (ATT) を10dB側へ操作したときの最大の実用入力レベル

※3 2信号3次歪の値

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

M金具セット 1組
ビス(5×6mm) 2本
壁面取付金具 1個
木ネジ(4×12mm) 3本防水キャップ(大) 3個
防水キャップ(小) 1個
F型コネクタ(FP5) 3個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

本社〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802-2244
工事営業部 (052)802-2225
技術相談 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp支店・営業所
沖 縄 (098) 854-2768 熊 本 (096) 381-7626
鹿児島 (099) 226-9200 長 崎 (095) 846-6872
宮 崎 (0985) 25-3877 福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026下 関 (0832) 55-1130
徳 山 (0834) 32-2954
広 島 (082) 230-2351
松 江 (0852) 21-5341
岡 山 (086) 252-5800
松 山 (089) 973-5656
高 知 (088) 882-0991
高 松 (087) 865-3666
姫 路 (0792) 34-6669
神 戸 (078) 843-3200
大 阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京 都 (075) 341-0595
和歌山 (073) 473-8867津 (059) 234-0261
岐 阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊 橋 (0532) 33-1500
静 岡 (054) 283-2220
松 本 (0263) 57-4625
福 井 (0776) 23-8153
金 沢 (076) 249-5301
新 潟 (025) 287-3155横 浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青 戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千 葉 (043) 232-5335
大 宮 (048) 663-8000
前 橋 (027) 263-3767
水 戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008郡 山 (024) 952-0095
仙 台 (022) 786-5060
盛 岡 (019) 641-1681
秋 田 (018) 862-7523
青 森 (017) 742-4227
函 館 (0138) 53-7355
札 幌 (011) 782-0711
釧 路 (0154) 23-8466
旭 川 (0166) 25-3111
北 見 (0157) 61-0480